

## 体 液 用 剤

## ブドウ糖「コザカイ・M」

日本薬局方 ブドウ糖

Glucose

貯 法：気密容器  
使用期限：ラベル等に記載

承認番号	16000AMZ04523000
薬価収載	1950年10月
販売開始	1949年11月
再評価結果	1977年10月

## 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

（経口）ブドウ糖吸収不良の患者

〔遺伝性のグルコース-ガラクトース吸収不良症では小腸における両者共通の運搬体の欠損が存在すると考えられており、ブドウ糖を摂取しても吸収されずにそのまま排泄される。又、小児に腸炎や消化管の外科的切除を施行したときなどにも、まれにグルコース吸収不良を認めるため〕

（注射）低張性脱水症の患者

〔本症は、ナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがあるため〕

## 【組成・性状】

本品1g中、日本薬局方 ブドウ糖1g含有する。  
白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。本品は水に溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

## 【効能・効果】

（経口）経口的栄養補給、ブドウ糖負荷試験

（注射）脱水症、特に水欠乏時の水補給、循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、注射剤の溶解希釈剤  
薬物・毒物中毒、心疾患（G I K療法）、肝疾患、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合

## 【用法・用量】

（経口）経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。ブドウ糖負荷試験には、通常、成人1回ブドウ糖として、50～100gを経口投与する。なお、年齢、体重により適宜増減する。

（注射）水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には、通常、成人1回5%液500～1,000mLを静脈内注射する。循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（G I K療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には、通常、成人1回10～50%液20～500mLを静脈内注射する。点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として、0.5g/kg/hr以下とすること。注射剤の溶解希釈には適量を用いる。なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

（経口）

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
  - カリウム欠乏傾向のある患者〔ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがあるため〕
  - 糖尿病の患者〔高血糖を生じ症状が悪化するおそれがあるため〕
- 副作用  
（本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。）  
消化器（頻度不明）  
大量を経口投与するとき悪心・嘔吐、下痢、腹痛を起こすことがあるので、慎重に投与すること。〔ブドウ糖の吸収が間に合わずに、腸内浸透圧が上昇するため〕
- 高齢者への投与  
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意する。

（注射）

（1）慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- カリウム欠乏傾向のある患者  
〔ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがあるため〕
- 糖尿病の患者  
〔高血糖を生じ症状が悪化するおそれがあるため〕
- 尿崩症の患者  
〔本症には、適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがあるため〕
- 腎不全の患者  
〔水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがあるため〕

（2）副作用

（本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。）

大量・急速投与（頻度不明）

電解質喪失を起こすことがあるので、慎重に投与すること。〔投与速度が速くなり十分に代謝されなくなると高血糖及び糖尿が生じ、それに伴う浸透圧利尿から電解質の過剰排泄が生じることがある。また、投与された溶媒とブドウ糖が代謝されてきた水が腎臓から尿として排泄されるときには電解質が必要となるため、ブドウ糖の大量投与によって体内から過剰の電解質排泄が生じる。高血糖が発生した場合には、直ちに投与を中止し、インスリン及びカリウムの投与など適切な処置をとる〕

（3）高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし減量するなど注意する。

（4）適用上の注意

- 皮下大量投与により血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるため皮下投与しないこと。
- 血栓静脈炎を起こすことがあるので、慎重に投与すること。
- 高濃度液投与の急激な中止により低血糖を起こすおそれがある。

## 【薬効薬理】

経口投与されたブドウ糖は胃腸管から速やかに吸収されて血液中に入り、体内でエネルギー源となり代謝される。また肝、心筋グリコーゲン量を高め、あるいは全身の細胞機能を亢進して生体の代謝能を増し、又解毒効果を示す。10～50%の高張ブドウ糖液を静注すると、血液浸透圧が上昇することにより組織水分が血液中に移動し、利尿作用を示す。

## 【包装】

500g

## 【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部  
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10  
TEL 03-3381-2004  
FAX 03-3381-7728

発売元



吉田製薬株式会社  
東京都中野区中央5-1-10

製造販売元

小堺製薬株式会社  
東京都墨田区両国4-36-9